

ゴールデンウイークレガッタ2025

帆走指示書

開催地：神奈川県三浦市・シーボニア

期 間：2025年5月3日(土) ～ 5月5日(月)

主催：JSAF 特別加盟団体シーボニアヨットクラブ

公認：JSAF 特別加盟団体日本ミドルボート協会

協力：株式会社リビエラリゾート

[SP]は、レース委員会が審問無しに標準ペナルティーを適用することができる規則を意味する。

出艇申告、海上申告、海上においてレースを中止した場合の帰着申告を対象とし、インショア・レースは当日の最初のレースに各1点を加算する。ただしDNFの得点を上限とする。

ディスタンス・レースは同じく出艇申告、海上申告、海上においてレースを中止した場合の帰着申告を対象として各々所要時間に5%のタイムペナルティを加算する。この項は規則60.1、63.1及びA5を変更している。

[NP]は、この規則の違反は艇による抗議の根拠とはならないことを意味する。これはRRS 60.1を変更している。

[DP]は、この規則の違反はプロテスト委員会の裁量により失格より軽減できる規則を意味する。

01. 適用規則

- (1) セーリング競技規則 (RRS) 2025-2028 に定義されている規則
- (2) セーリング装備規則 (ERS) [DP、NP]
- (3) IRC クラス: IRC Rule 2025 パート A・B 及び C [DP]
 - (3-1) 艇に搭載するセイルの変更を認める (IRC 規則 21.1 (d) 及び (e) は適用しない)。
- ORC クラス: ORC RatingSystem2025, IMSrule2025
- (4) 「外洋特別規定 2024-2025 附則 B インショア・レース用特別規定」及び「OSR 国内規定」 [DP]
- (5) レース公示および本帆走指示書

02. 競技者に対する通告

競技者にする通告はゴールデンウイークレガッタ公式ホームページの公式掲示

板に掲載する。

<http://regatta.seabornia.org/>

サービスとして、レース本部に印刷されたものを掲示する。

03. 帆走指示書の変更

帆走指示書の変更は、同変更が発効する日の 07 時 30 分までにゴールデンウィークレガッタ公式ホームページにより通告する。

ただし、レース日程の変更は、同変更が発効する日の前日 18 時 00 分までにゴールデンウィークレガッタ公式ホームページにより通告する。

04. レースの日程

(最初のレースの予告信号時刻) <シリーズ・レース>

5月3日(土) 09時55分 インショア・レース

5月4日(日) 09時55分 インショア・レース

5月5日(月) 09時55分 ディスタンス・レース

16時00分 表彰式・パーティー(シーボニアプールサイド)

(1) 本大会はインショア・レース最大7レース、ディスタンスレース1レースで構成される 1日の最大レース数は、レース委員会の裁量に委ねられる。

(2) ミドルボートデビジョンは参加艇数に応じA,Bにグループ分けをする。

(3) 3レースの完了でシリーズ・レースの成立とする。

(4) 5月3日、4日、5日とも15:00より後に予告信号は発しない。

5日のディスタンスレースタイムリミットは15:00とする。

05. 乗員登録の追加・変更 [SP、NP]

乗員登録の追加および変更は、当該日の最初のスタート予告信号の90分前までにレース本部へFAXもしくは電子メールで提出すること。乗員の変更がない場合は出艇申告の必要はない。

ただし、書類の提出は、以下のメールアドレスにE-MAILで送付すること。画像添付またはPDF添付でもよい。

変更に関しては本文に変更内容を記入する事。

送付メールアドレス：regatta@seabornia.org

メール題名：乗員登録変更*** (艇名)

06. 海上でのエントリー確認 [SP、NP]

- (1) 各レース日の最初のレースについては、レース予告信号時刻の 25 分前から同時刻の 5 分前までの間にセイル番号を表示して、L 旗を掲揚した本部艇または公式運営艇の艇尾から同艇を右側に見て通過し、海上確認を受けなければならない。
- (2) 上記(1)の海上確認を受けなかったレース参加艇は、その旨をレース本部に直ちに連絡し、かつ、その日の以後のレースに参加するか否かについて、併せて連絡しなければならない。
- (3) 上記(2)の以後のレースに参加する艇は、当該レースの予告信号時刻までにレース中の艇を避けて、本部艇または公式運営艇の艇尾から同艇を左側(注: 上記(1)と異なる側)に見て通過し、海上確認を受けなければならない。

07. レース旗・デビジョン識別リボン[DP、NP]

- (1) レース旗として、「支給されたシーポニレガッタ旗」を掲揚し、かつ、その旗の下にデビジョン識別リボンを連ねて掲揚しなければならない。
そのデビジョン識別リボンの色は

IRC デビジョン	: スカイブルー、
関東ミドルポート選手権	クラス A: ピンク、
	クラス B: グリーン、
ORC デビジョン	: イエロー

- (2) レース旗およびデビジョン識別リボンは、バックスターあるいはバックスターがない場合にはサイドスター(スターボード・サイド)またはフラッグ・ポールのデッキから 1.5m 以上の位置にスタート予告信号からフィニッシュ、またはリタイアするまでの間、掲揚していなければならない。
- (3) レース委員会は、デビジョンを表示する場合には、本部艇または公式運営艇にデビジョン識別リボンと同色の旗を掲揚する。

08. 運営艇・審判艇

- (1) 公式運営艇は、レガッタ旗を掲揚する。
- (2) 審判艇は「JURY」旗を掲揚する。

09. レース海域

レース海域は、佐島沖(参考: 北緯 35° 13'18" / 東経 139° 33'24")の地点を中心とする半径 1.5 マイルの円内)および相模湾・三浦半島沖とする。

10. コース

インショア・レース

- (1) コースはウインドワード・リーワード(ソーセージ)コースとし、
レグ数は 4 レグ (スタート→ 風上マーク→ 風下マーク→ 風上マーク
→ フィニッシュ)
ただし、各マークを左側に見て回航(反時計回り)する。
風下マークは、スタート・ライン・マーク(リミット・マーク)と同一のものとする。
- (2) 風上マークまでの大凡のコンパス方位と距離はスタート予告信号前に本部艇に掲示する。

ディスタンス・レース

- (1) コースは城ヶ島南西沖浮漁礁浮標(参考:北緯 35° 05'48"/東経 139° 32' 24")および佐島沖マーク(参考:北緯 35° 13'00"/東経 139° 32'42")を回航するコースとし、スタート予告信号前にコース信号として数字旗を掲揚する。
数字旗 1: 回航方法 ⇒ 浮標・マークを右側に見て回航(時計回り)する。
スタート(小網代沖に設置するスタート・ライン)→ 城ヶ島南西沖浮漁礁浮標→佐島沖マーク → フィニッシュ(小網代沖に設置するフィニッシュ・ライン)
数字旗 2: 回航方法 ⇒ マーク・浮標を左側に見て回航(反時計回り)する。
スタート(同上)→ 佐島沖マーク→ 城ヶ島南西沖浮漁礁浮標→ フィニッシュ(同上)
- (2) 亀城礁灯台の東側を帆走してはならない。
城ヶ島南西沖浮漁礁付近は漁船、遊漁船が多いので操業を妨げないように注意する事。

11. マーク

- (1) マークは、黄色の膨張式円筒形のブイとし、番号の表示はない。
風下マークはスタート・リミットマークと同一とする。
なお風上マークは黄色の拡張式円筒形ブイとする。
ディスタンスレースの佐島沖ブイは黄色の拡張式円筒形ブイとする。

- (2) マークが流失または正規の位置から大幅に移動した場合には、M 旗を掲揚した公式運営艇を代替マークとし、反復音響信号を発して通告する。

12. スタート

- (1) スタートは、RRS 26 を適用し、次の通り行う。
インショア・レース 全レース艇同時スタートとする。

IRC36f 以上デビジョン・関東ミドルボート選手権・ORC デビジョン

ディスタンス・レース

- (1) 全レース艇同時スタートとする。
- (2) 予告信号として本部艇にスタートするデビジョンの識別リボンと同色の旗を掲揚する。
- (3) スタート・ラインは、本部艇のオレンジ旗を掲揚したマスト若しくはポールとマークの間とし、最初のマークの方向にスタートする。オレンジ旗は最初のグループの予告信号のおおむね 5 分前に掲揚される。オレンジ旗の掲揚時間に関しては救済の要求対象とはならない。
- (4) スタート信号から 4 分経過後にスタートするレース艇は DNS と記録される。
(注) レース艇はスタート信号から 4 分以内にスタートすること。(RRS 付則 A4.1 変更)

13. リコール

- (1) 個別リコール (RRS 29.1 に従う)
個別リコールの場合には、本部艇に X 旗を掲揚し、音響信号(1 声)を発して通告する。
X 旗は、全リコール艇がスタート・ラインまたはそのどちらかの延長線のプレスタート・サイドに完全に帆走するまで、または規則 RRS 30.1 が適用さ

れている場合には、それに従うまで掲揚される。ただしスタート信号後4分間とする。

(2) ゼネラル・リコール (RRS 29.2 に従う)

ゼネラル・リコールの場合には、本部艇に第1代表旗を掲揚し、音響信号(2声)を発して通告する。

ゼネラル・リコールになったクラスの新しいスタートの予告信号は、RRS 29.2 に従い、第1代表旗降下1分後とし、これに続くクラスのスタートは順次繰り下げられる。

14. コースの次のレグの変更

コースのレグを変更する場合には、次のレグのマーク(またはフィニッシング・ライン)を新しい位置に設置し、次のレグの起点となる回航マークの付近において、運営艇は、全艇に対し、同レグの帆走を始める前にC旗を掲揚し、かつ、反復音響信号を発し、新しいレグのコンパス方位と大凡の距離を掲示して通告する。

ただし、通告の時点では次のマーク(またはフィニッシング・ライン)が新しい位置に設置されていないこともある。(RRS 33)

尚、変更マークは、桃色(ピンク)の膨張式円筒形ブイとする。。

15. コースの短縮

コースの短縮は、公式運営艇にS旗を掲揚し、音響信号(2声)を発して通告する。この場合には、レース艇はS旗を掲揚したマスト若しくはポールと回航マークの間でフィニッシュすること。

16. レースの中止と延期

レースの中止は、音響信号3声と共にN旗を掲げる。

新しいスタートを行う場合の予告信号はN旗降下1分後とする。

16.2 スタートをしていないレースの延期は、音響信号2声と共にA旗の上に回答旗を掲げる。

17. フィニッシュ

(1) フィニッシュ・ラインは、本部艇または公式運営艇の青色旗を掲揚したマスト若しくはポールとマークの間とする。

(2) 本部艇または公式運営艇は、所定の場所に位置するが海象・気象条件等により錨泊していないことがある。

18. タイムリミット

インショア・レース

- (1) タイムリミットは、スタート信号 2 時間後の時刻とする。

ただし、各グループの先頭艇が上記時刻までにフィニッシュした場合には、当該グループのタイムリミットは、先頭艇フィニッシュ 30 分後とし、同時刻までにフィニッシュしなかったレース艇は DNF と記録される (RRS 35 変更)

- (2) タイムリミットは、公式運営艇に T 旗を掲揚し、音響信号(1 声)を発して通告する。

ディスタンス・レース

全デビジョン共タイムリミットは 5 月 5 日(日)15 時 00 分とし、同時刻までにフィニッシュしなかったレース艇は DNF と記録される。(RRS 35 変更)

19. 国際信号旗とデビジョン識別リボン同色の旗を掲揚

本部艇並びに公式運営艇が C 旗・S 旗・T 旗等の国際信号旗とデビジョン識別リボンと同色の旗を掲揚した場合には「当該クラスのみ対象とする」を意味する。

20. 失格等に代わるペナルティー

- (1) インショア・レースは回転、または得点ペナルティーを適用する。

ディスタンス・レースの OCS 艇に対しては所要時間に 5% を加算した修正時間で順位を算出し、その順位に基づいた得点とする。ディスタンス・レースのペナルティは回転、またはタイム・ペナルティを適用する。

- (2) プロテスト委員会は、RRS 第 2 章以外で、[DP]の記載がない違反に関しても、その裁量で失格より軽減することができる。

21. 抗議(救済の要求)

- (1) 抗議(救済の要求)は、RRS 60.2 (a) (1)に従い行われなければならない。
- (2) 抗議を提出する艇は、『プロテスト』の声掛けと共に赤色旗を掲揚し続け、フィニッシュ時に、抗議の意思をフィニッシュ・ラインに位置する本部艇または公式運営艇に直ちに報告しなければならない。(RRS 60.2(a)変更)
- (3) 抗議(救済の要求)は、所定の抗議書に必要事項を記入し、その日の当該グループの最終レース終了後 2 時間以内にレース委員会に提出しなければならない。

ない。

抗議書の提出は E-MAIL で送付メールアドレス : regatta@seabornia.org
メール題名：抗議書（救済の要求）*** (艇名)

- (4) 抗議に関わる事項は抗議締切時刻後 1 時間以内に公式掲示板に掲載する。
- (5) レース委員会、またはプロテスト委員会の抗議は、その通告を RRS60.2(a)(2) に基づき被抗議者に伝える為、抗議締め切り時刻までに公式掲示板に掲載する。
- (6) 抗議の当事者ならびに証人等は、指定された日時に審問室シーボニアブライズルームの前で待機していること。
- (7) シリーズ・レース最終日における審問再開の要求は、所定の抗議書に必要事項を記入し、次の時刻までにレース委員会に提出しなければならない。
 - (a) 要求する当事者が、最終日の前日に判決を通告された場合には、最終日の抗議締切時刻とする。
 - (b) 要求する当事者が、最終日に判決を通告された場合には、その判決の通告後 30 分の時刻とする。(RRS 63.7 変更)

22. ハンディキャップ・順位

次の方式から修正時間を算出し、修正時間の小さい方の艇を上位とし、順位を決定する。

(1) 方式

IRC クラス: TCC による Time on Time を適用する。

ORC クラス:インショアレースは Triple Number

Windward/leeward Time on Time、ディスタンスレースは Triple Number Coastal/Long distance Time on Time を採用する。

Triple Number の風速域はスタート予告信号前に本部艇に風速域信号として L または M または H を 掲示する。レース委員会は、スタート後であっても、風速が著しく変化した場合には 風速域を変更することがある。レース委員会による風速域に関する決定は、艇による 救済要求の根拠とはならない。これは RRS61.4(b)を変更している。

(2) 修正時間は、小数点以下を四捨五入し、秒単位まで算出する。

(3) 修正時間が同一の場合には、IRC クラスは TCC の数値が小さい方を ORC クラスは APH ToD の数値が大きい方を上位とする。これは RRS 付則 A-7 を変更している。

23. シリーズ・レースの成立

本シリーズ・レースは、8レースを予定し、3レースの完了を以て成立とする。

24. 得点・係数

(1) 得点

RRS 付則 A4 の低得点方式を適用する。

(2) 係数

インショア・レース (上記得点) ×1.0

ディスタンス・レース (上記得点) ×1.0

(RRS 付則 A4.1 変更)

(3) 本シリーズ・レースの総合得点は成立したレースの合計得点とする。

ただし、インショアレースが 5 レース以上成立した場合にはインショア・レースの中で最も悪い得点のレースを除いた残りのレースの合計得点とする。

25. 総合順位

RRS 付則 A の低得点方式を適用する。

26. レース艇の義務 [DP、NP]

(1) ライフジャケットの着用

出港から帰港までの間、全乗員はライフジャケットを着用していなければならない。

(2) 出艇申告書を提出し、スタートしない艇またはリタイアした艇は、その旨をレース本部に直ちに連絡しなければならない。

(3) 海上においてレースが中止になった場合には、帰港後、レース本部に直ちに帰着報告をしなければならない。 [SP]

(4) 事故報告

人員の負傷、落水、重大な船体マストなどの損傷を伴う、衝突、座礁、破損などがあった場合は、抗議救済の要求の有無に関わらず事故報告書をレース本部まで提出すること。事故状況、日時、関係艇、場所、関係者名、連絡先などを書面で提出する事。メール添付可。

(5) 上記(2)(3)の連絡および(4)の報告は、当該艇の責任者が行い、第三者に伝言を託してはならない。

27. ごみの処分[DP、NP]

競技者は、故意にゴミを水中に投棄してはならない。この規則は水上にいる間常に適用される。これはスピナーカーをまとめる毛糸・ゴムバンド等を含む。

28. 支援艇[DP、NP]

レース参加艇に対する支援艇を使用する場合は、指定の書面（支援艇使用申請書）を regatta@seabornia.org へ送付する。

- (1) 届け出締め切りは、当日出艇申告時とする。以後変更のない場合は提出する必要はない。
- (2) 支援艇は、レース中（初めのグループのスタートの予告信号から全クラス全艇フィニッシュするまで）レースエリアに入ってはならない。

29.

IRC デビジョン	総合 1-3 位
関東ミドルボート選手権	総合 1-3 位
関東ミドルボート選手権クラス A	1-3 位
関東ミドルボート選手権クラス B	1-3 位
ORC デビジョン	総合 1-3 位
ディスタンスレース	1-3 位

30. レース本部

三浦市三崎町小網代 1286 シーボニア・ヨットクラブ事務局(ハーバー事務所隣)
期間：5月3日(土)～5日(月)開設時間 07時00分～18時00分とする。

レースの中止、終了時間などで閉鎖時間が変更になる場合ホームページで告示する。その場合も下記レース本部電話は通じる。

レース本部：0468-82-1979

Mail：regatta@seabornia.org